

冬の夜の夢

～フユシヤク～

自然解説員

澤田 勝生

フユシヤクというガをご存じでしょうか。普通は冬という虫のいない季節なのですが、虫というのは本当に色々な生き物で、中にはわざわざ好き好んで寒い冬の間だけ出てくるものもいます。その中でも松戸で見ることの出来る代表的なものがフユシヤクになります。

フユシヤクは成虫が冬の間だけ活動するシヤクガの仲間をまとめて呼んだものです。見つけられるのが冬の、それも夜の間ですからまあ虫を探しに行くようなタイミングでもないので一般の方はあまり知られていない虫です。

日本には計35種いるとされていますが、探せばまだいそうな気がします。



イチモジフユナミシヤク♂

幼虫の食草は種によって違うのですが、ナラやクヌギなんかの雑木林にありがちな広葉樹や、サクラやケヤキのような公園の木の葉っぱを食べるものが多いため、実は気づいてないだけでその辺の雑木林や公園に普通にいたりする虫です。

フユシヤクの特徴というと冬に活動する点が目立ちますが、もう一つの大きな特徴としてメスの羽が退化して無いもしくは小さくて飛べない、という点が挙げられます。理由についてははっきりとしたことは分かっていません。ただ羽がない代わりにメスは足が速いそうです。

冬でも虫が見たい・春まで待てない、そんなときは夜にサクラや雑木林の樹皮を探してみましょう。冬に昆虫観察というちょっと変わった経験ができるかもしれせん。



イチモジフユナミシヤク♀